

## 高知県の「廣井勇を顕彰する会」が小樽港に来訪 ～初代所長「廣井勇」の功績を学ぶ出前講座を開催～

小樽港湾事務所では、高知県で設立された「廣井勇を顕彰する会」の申込みを受け、小樽築港事務所（現在の小樽港湾事務所）の初代所長である廣井勇の功績を学ぶための出前講座を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

来訪される「廣井勇を顕彰する会」は、廣井勇の業績と人となりを世に広く永く伝えるため、廣井勇の出生地である高知県で平成30年5月に設立されました。今回、廣井勇の北海道での功績を巡るために来道され、ゆかりの深い小樽港湾事務所を訪問し、出前講座を受講することとなったものです。

### 記

- 1 日時 平成30年9月4日（火）10:00～12:00
- 2 場所 小樽開発建設部小樽港湾事務所 3階会議室ほか
- 3 参加者 「廣井勇を顕彰する会」21名
- 4 内容 詳細は、別紙をご覧ください。
- 5 その他 当日、取材を希望される場合は、8月31日（金）12時までに広報官へお知らせ願います。

**ShiriBeshi**  
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

広報官 田中 邦彦 (0134-23-9910)

小樽港湾事務所 計画課長 本間 薫 (0134-22-6131)



## 1. 小樽築港事務所初代所長「廣井勇」について



文久2年（1862年）に土佐藩佐川村（現在の高知県佐川町）に生まれ、明治10年（1877年）16歳で札幌農学校（現在の北海道大学）に入学、同期には新渡戸稲造、内村鑑三がいます。卒業後は、アメリカへの留学、札幌農学校の教授を経て、北海道庁の技師となり、明治30年（1897年）からは、小樽築港事務所の初代所長として、小樽港の計画・調査から工事までを指導し、明治41年（1907年）に第1期工事として北防波堤が竣工しています。波の力を算出するための計算式を提案、当時、技術が確立していなかったコンクリートについて、長期の耐久試験を行うなど、以降の港湾工学の礎を築き、「港湾工学の父」と呼ばれています。また、明治32年（1899年）からは東京帝国大学教授を兼任し、教育者として第3代所長となる伊藤長右衛門ら多くの土木技術者を輩出しています。

## 2. 「廣井勇を顕彰する会」について

廣井勇について深く研究・顕彰して、偉大な功績を広く啓発し、多くの若者が彼の生き方に共感を覚え、建設産業の担い手として成長されることを願って、高知県の建設系関係者らが中心となって、平成30年5月14日に「廣井勇を顕彰する会」が設立されました。

（役員）敬称略

会長 岡村 甫（高知工科大学 顧問）  
 副会長 磯部 雅彦（高知工科大学 学長）  
 堀見 和道（佐川町長）  
 吉村 文次（（一社）高知県建設業協会 会長）  
 右城 猛（高知県橋梁会 会長）

※「廣井勇を顕彰する会」ホームページ <https://www.hiroi-isami.com/> から

## 3. 出前講座の内容について

日 時	平成30年9月4日（火）10:00～12:00
	10:00～10:30 出前講座
	10:30～11:15 小樽港湾事務所資料コーナー説明
	11:15～12:00 小樽港洋上見学
	※小樽港湾事務所資料コーナー説明と小樽港洋上見学は入れ替え
場 所	小樽開発建設部小樽港湾事務所 3階会議室、資料コーナー ほか
参加者	「廣井勇を顕彰する会」北海道視察団21名 団長 廣井勇を顕彰する会副会長 堀見 和道（佐川町長） 外20名
講座内容	小樽築港事務所長時代の廣井勇の功績、北海道での技術者の育成などを予定